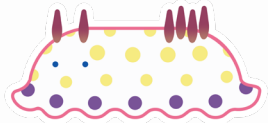


ウミウシ

えっ、海の牛？「モオ～」なんて、イメージしてた？「海の宝石」なんていわれちゃうウミウシは、原宿にぴったりで海の映え代表！シンデレラウミウシ、キャラメルウミウシ、インターネットウミウシ……。ユニークなネーミングと個性派ファッションをぜひチェックしてみて。



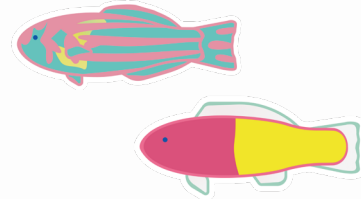
サンゴ

サンゴって植物にみえるけど、実は動物！水の温度や紫外線に敏感で、いつもはキラキラとカラフルなのに、環境でストレスがたまると真っしろに！それって「助けて～！」のサイン。ねえ、みんなは白くなってない？ サンゴも私たちも、気づいたときにケアのタイミング。



砂の城

海辺に行ったら、やっぱり砂遊び！山をつくったり、トンネルを掘ったり、流れる川をつくったり。想像力をフル活用して、思いっきり遊べるワクワクの時間だね。原宿海岸では、とびきり **KAWAII!!** 「サンドキャッスル」を制作！ちいさなころの大きな夢を叶えちゃいました。

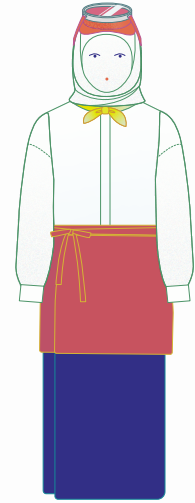


ちいさなさかな

日本各地の浅い岩場でひょっこり姿を見せるちいさな魚たち。今回 **MINI MINI in the SEA** で展示されているのはダンゴウオ。泳ぐのはちょっぴり苦手だけど、おなかの吸盤を使ってスイ〜と滑るように移動できるんだ。流れが速い場所でも、岩や海藻にぴったり貼りついてへっちゃら！恋の季節になると、オスはせっせとちいさな巣穴を準備。メスを招き入れて卵を産んでもらったら、そこからはオスの大仕事！口やひれを使って、卵に新鮮な水を送りながら孵化するまで大切に守り続けるよ。カラーバリエーションが豊富で、特に赤ちゃんのころ、頭に見られる白い輪っか「エンジェルリング」はとっても **KAWAII!!** と評判。そのキュートな姿に、思わずキュンとなっちゃうよね。

あま海女

海女たちは、素もぐりで貝や海藻を探る伝統的なダイバー。今では日本と韓国にしかいないけど、昔はたくさんいたんだ。環境の変化や技術の進化でだんだんその数が減ってきているみたい……。海女は海の変化を敏感に感じ取る自然のエキスパートでもあって、たとえば潮の流れや水温の変化、魚の動きなどを読んで、貝や海藻を探る場所を決めている。そして風習を大切にしながら、三重県（三重県）の海女たちは、「セーマンドーマン」という独特のもようをお守りにしているよ。これは、豊漁を願うまよけとしても使われていて、アニメ『呪術廻戦』にも登場しているんだとか。アニメやマンガのなかにも、こういう海の文化の名残がときどきみつけれられるんだ。



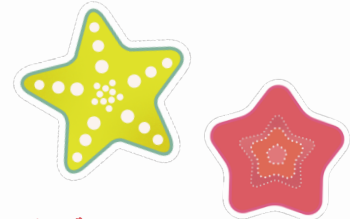
SEA is KAWAII!!

原宿海岸

HARAJUKU POP UP BEACH STUDIO

原宿海岸

2025 年都会のどまんなかに現れた“まぼろしの海岸”。実は約 **6000** 年前には、ここは本物の海だった！昔は原宿も渋谷も、海のなか。意識して歩くど海岸線がみつかるかもよ。



ヒトデ

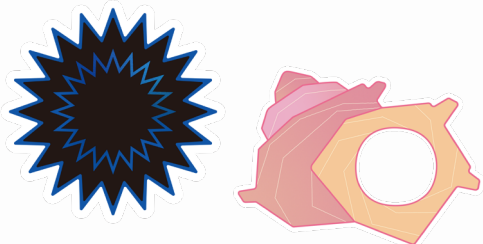
ヒトデって、漢字で書くと「海星」、英語では「starfish」っていうの、知ってた？ 一般的に **5** 本の腕（うで）があって、星の形に似ているからなんだけど、海に浮かぶ星ってなんかロマンチック！形だけじゃなくて、ふわふわ、ツルツル、ゴツゴツといういろんなさわり心地があるよ。

DISCOVER SEA is KAWAII!!

Copyright © 2025 3710LAB All Rights Reserved.

人と同じビートをきざむ波

波を見ていると落ち着くのはなぜ？ 1 分間に波が寄せる回数は **18** 回。これは人の呼吸のリズムと同じ。その倍は人の体温で、さらに倍はお母さんのおなかのなかで赤ちゃんが聞く鼓動。そのさらに **4** 倍は赤ちゃんがお母さんの体内にいる日数なんだって。海と人は深いところできながっているみたい。そんな波にはさまざまな表情があるけど、この動きの表現に人生をかけたのが、江戸時代の有名浮世絵師、葛飾北斎。なかでもピカイチの作品といわれる「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」は、水のダイナミックな流れやしぶきの表現が超カッコイイ **1** 枚。海外では“The Great Wave”と呼ばれていて、世界中を魅了しているんだ。今回はその「波」を原宿海岸らしく「**KAWAII!!** 波」へアップデート！



ゆれる波と恋ゴコロ

ウニのとろける甘さに、サザエのつば焼きジュワ〜。プリブリのお刺身に、焼き魚、しみわたるお味噌汁……これぜんぶ海のおかげ！ なかでも特に昔から人との関わりが深いのは、ワカメだって知ってた？ 水のなかでゆらゆら……。ただ流れに身を任せてぼーっとしているだけにみえるけど、ゆられることでどんどん成長しているんだって。まるで人生のようだね。縄文時代から食べられていて、飛鳥時代にはラブレターの文面に「ワカメ」が登場することもあったとか。それくらい身近で、しかも恋ゴコロの象徴でもあったみたい。ワカメの動きにゆれる恋ゴコロを重ねちゃうなんてロマンチック♡あなたも海に「好き」の気持ちをのせてみる？

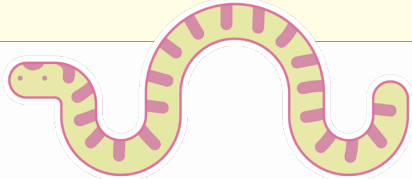
我々とは和洋藻類の海女は

訳

角島の海峡の若海藻（わかめ）は、他の人には荒海藻（あらめ）だけど、私には柔らかい素直なワカメですよ。（万葉集 16 巻 3871）

ウミヘビ

なんとも脱皮をくりかえすことから生命の再生の象徴とされるヘビは、世界中の神話にでてる。なかでも背が黒いウミヘビは海の神様の使いとして、日本各地で大事にされているよ。その昔、神様は海の向こうから来ると信じられていたんだけど、水平線って確かにすいこまれちゃいそうだもんね。



海とことば

山なら「ヤッホー！」だけど、海で叫ぶなら何？ 山はこだまして返ってくるけど、どこまでもつづく海に叫べば、願いをぜんぶ包みこんでくれてうまくいきそうな気がする。「好きだー！」って叫んだらその恋、叶っちゃうかも!? さあ大きく息を吸って、海に向かって叫んでみよう。

水着

水着って、昔は「ふんどし」が一般的だったって知ってた？ 江戸時代の海や川遊びといえ、男性も女性もふんどしスタイル。時代が進むにつれて洋風の水着が登場し、どんどんオシャレに進化していったんだって！ 海ファッション、歴史をたどると意外と奥深いなあ。今年はどんな水着で海に行く？



アイスクリーム

「あまっ、すぐ溶ける！」はじめてアイスを外国で食べた日本人は感動してしまった！ 日本初のアイスは、その名も **KAWAII!!** 「あいすくりん」。みんなが海で食べたいのは、アイス？ それともかき氷？ ちなみに、清少納言は「削り氷」に「甘葛」という甘味料をかけて食べるのが推しだったみたい。洗い！

海と教育

学校で海のこと、習った？ 実はほとんど教わらないんだよね。海がなくなると世界ってどうなる？ 海のこととは月よりわかっていない？ 海の生物から難病に効く薬が見つかるかもしれない？ そう。未知の海には、未来を変える秘密が眠っているかも。



みなとラボ 3710Lab

「海と人とを学びでつなぐ」みなとラボは次世代の教育をデザインするプラットフォームです。

「海って広い深いし、考えていると頭がクラクラ……」そんなあなたに「みなとラボ」！ 海のことをもっと身近に、もっと楽しく知ってもらうために、いろいろなイベントや学びのプログラムを企画しているよ。海をワクワクさせる秘密基地へ、いざダイブ！

詳しくは WEB サイトをチェック



3710lab.com



X



Instagram



Supported by THE NIPPON FOUNDATION